

第1日目 2021年9月4日（土）

午後の部2 15:45～17:45

テーマセッション（2）開催校企画

育児ネットワークの構造を地域からとらえなおす

—九州の徳之島と福岡市の比較から—

オーガナイザー・司会：山下亜紀子（九州大学）

【企画趣旨】

本企画は、育児ネットワークの構造を地域という軸を組み込んで検討するものである。これまでの育児ネットワークの研究では、地域的背景をふまえて展開された議論は少なく、かつ都市部での調査分析に偏重している。これに対し、本企画では地域の異なりを前提とし、また従前ではあまり検討されてこなかった農山村地域も含めて、育児ネットワークの構造を描き出すことを目的としている。村落研究における社会関係論の展開および家族社会学における育児ネットワーク研究の蓄積を参照しつつ、現代の育児ネットワークを地域性という視点から再考してみたい。

この試みは、徳之島伊仙町と福岡市城南区を舞台として検討する。この舞台設定のもつ意味は複数あるが、端的には、九州トップ（すなわち全国でも）クラスの出生率である徳之島という「西南九州型」の地域と、九州で最も都市型の生活構造をもつ福岡市の比較と位置付けられる。この2地点の比較から、現代の九州地方における子育てのあり様について検討する。なお本研究における重要なポイントとして、子育て、育児という営みの内容が、ライフコース上において変容する点についても提示したい。